

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	アリアーレビューティー専門学校
設置者名	学校法人 愛知理容学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	理容科	昼	900	160	
	美容科	昼	900	160	
	トータルプログラム科	昼	720	160	
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

理容科 https://www.aliare.ac.jp/wp-content/uploads/2023/05/J-R.pdf
美容科 https://www.aliare.ac.jp/wp-content/uploads/2023/05/J-B.pdf
トータルプログラム https://www.aliare.ac.jp/wp-content/uploads/2023/05/J-T.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	アリアーレビューティール専門学校
設置者名	学校法人 愛知理容学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ上にて公表 https://www.aliare.ac.jp/wp-content/uploads/2024/06/meiboR6.pdf
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	名古屋北納税貯蓄連合会 会長・青色申告指導員	2018.6.13 ～ 2026.6.12	財務・渉外(広報)担 当理事として経営 運営のチェック指 導。
非常勤	学園監事2期(6年)→理 事役員就任	2018.6.13 ～ 2026.6.12	法学部経営学科で 得た知識にて経営 指導にあたる。
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名（学部等名）	アリアーレビューティー専門学校
設置者名	学校法人 愛知理容学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画の作成・公表に係る取組の概要) ・シラバスの作成過程・・・公益社団法人日本理容美容教育センターの教科書を下に指導要綱を各担当の職員が一年分ひと月毎に作成していく。 ・シラバスの作成・公表時期・・・年度初めの前々月の2月までに作成、翌月3月中に公表。 ・到達目標成績評価の方法や基準（ディプロマポリシー）は以下の通り。 ディプロマ・ポリシー(卒業認定基準) 理容科・美容科・トータルプログラム科それぞれ、以下の項目を満たしているか確認する。 《理容科》 ● 理容師として、様々なものに興味を持てる好奇心ある技術者 ● 細かい所にも気遣いができる発見力のある技術者 ● 様々な実習を行い、サロンの即戦力となる実践力のある技術者 《美容科》 ● 自己と向き合い、他者を認めて高め合う仲間づくり ● 自らの課題を克服していく強い意思 ● 幅広い技術を学び、時代の変化に対応する発想力を培う 《トータルプログラム科》 ● ヘアメイク、ネイル、エステティックに関するトータルの知識・技術を身に付け美容業界で活躍できる人材 ● 技術力とコミュニケーション力を兼ね備えた人材 ● 「喜ばれる喜び」を持って、自利自他の精神で社会貢献できる人材	
授業計画の公表方法	ホームページ上にて公開 https://www.aliare.ac.jp/information
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) - 各学期(6月、12月、2月)に定期試験を行う。 定期試験の結果、基準点に満たない者(60点未満)は、再試験を受けなければならない。 - 評価する内容としては、シラバス通り、定期試験で知識、理解度、技能習得度合い、表現力等をテストという形で評価し、出席率で熱心さ、授業態度を評価する。 2年時の3学期には卒業認定会議開く。 認定会議は、校長及び専任教員を以って構成する。 校長は、学科試験・実技試験結果及び卒業予定者名簿を認定会議に提出し進級または卒業を認める。成績不良者及び素行不良者または、学則等に違反した者を、校長が定める期間に当該教科科目の補習授業を受けせる。	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) - 成績評価の為に定期試験は100点と満点とし、以下の点数分布で客観的な指標を設定し成績の分布状況の把握を図る。 0～59 (未認定) 再試験を行う。 60～69 (C) 単位と習得するために達成すべき到達目標を一部満たしている。 70～79 (B) 単位と習得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 80～89 (A) 単位と習得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 90～100 (S) 単位と習得するために達成すべき到達目標を満たしている - 客観的な指標の適切な実施状況は、添付資料として別紙で成績分布を載せる	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	ホームページ上にて公開 https://www.aliare.ac.jp/wp-content/uploads/2024/06/srbsR5_kktk.pdf
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) デプロマ・ポリシー(卒業認定基準) 理容科・美容科・トータルプログラム科それぞれ、以下の項目を満たしているか確認する。 《理容科》 ● 理容師として、様々なものに興味を持てる好奇心ある技術者 ● 細かい所にも気遣いができる発見力のある技術者 ● 様々な実習を行い、サロンの即戦力となる実践力のある技術者 《美容科》 ● 自己と向き合い、他者を認めて高め合う仲間づくり ● 自らの課題を克服していく強い意思 ● 幅広い技術を学び、時代の変化に対応する発想力を培う 《トータルプログラム科》 ● ヘアメイク、ネイル、エステティックに関するトータル的な知識・技術を身に付け美容業界で活躍できる人材 ● 技術力とコミュニケーション力を兼ね備えた人材 ● 「喜ばれる喜び」を持って、自利自他の精神で社会貢献できる人材 1. 卒業に必要な各課目の授業時間数を修了すること。 2. 教育課程の修了または卒業は、毎学期に学科試験及び実技試験を行い、基準点に達した者について平素の出席状況及び性行を勘酌し、認定会議において決定する。 3. 学生のうちで、当該学年における所定の教育課程を修了することができなかった者について、教育上必要があるときは、原級に留め置くことができる。その場合は当該学年につき1年間のみとする。 4. 認定会議は、校長及び専任教員を以って構成する。 5. 校長は、学科試験・実技試験結果及び卒業予定者名簿を認定会議に提出し進級または卒業を認める。 6. 生徒の出席状況を確実に把握し、教科科目ごとに欠席があった場合(教科科目の3分の1以内。実習を伴う教科科目にあつては5分の1以内)であっても、十分な補講等を行って上で卒業を認める。補講対象者は奨学制度対象から除外され、また欠席が出席すべき教科科目の3分の1(実習を伴う教科科目にあつては5分の1)を超える者については卒業を認めない。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	ホームページ上学則4ページ17条にて公開 https://www.aliare.ac.jp/pdf/2020/j6202006.pdf

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	アリアーレビューティー専門学校
設置者名	学校法人 愛知理容学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.aliare.ac.jp/pdf/2019/b5.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.aliare.ac.jp/pdf/2019/b5.pdf
財産目録	https://www.aliare.ac.jp/pdf/2019/b5.pdf
事業報告書	https://www.aliare.ac.jp/pdf/2019/e6.pdf
監事による監査報告（書）	https://www.aliare.ac.jp/pdf/2019/b5.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		専門	理容科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	67/2010 単位/時間	30/600 単位/時間	17/510 単位/時間	30/900 単位/時間	0 単位時間	0 単位時間
			2010 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		25 人	1 人	5 人	12 人	17 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 年間授業計画は、公益社団法人日本理容美容教育センターの教科書を下に指導要綱を各担当の職員が一年分ひと月毎に作成していく。授業方法は、各教科・科目ごとに、実習、演習、講義を行う。
成績評価の基準・方法
（概要） ・評価の方法は、各学期（6月、12月、2月）に定期試験を行う。 ・成績評価の基準は、定期試験の結果、基準点に満たない者(60点未満)は、再試験を受けなければならない。 ・評価する内容としては、シラバス通り、定期試験で知識、理解度、技能習得度合い、表現力等をテストという形で評価し、出席率で熱心さ、授業態度を評価する。
卒業・進級の認定基準

(概要) ・デプロマ・ポリシー(卒業認定基準) 理容科は、以下の項目に満たしているかを確認します。 《理容科》 ● 理容師として、様々なものに興味を持てる好奇心ある技術者 ● 細かい所にも気遣いができる発見力のある技術者 ● 様々な実習を行い、サロンの即戦力となる実践力のある技術者 ・進級認定・卒業認定時数について 認定会議は、校長及び専任教員を以って構成し、各課目別授業時間数と第1学年及び第2学年終了時における各課目別における欠課による指導が行われる時数が決められている。第2学年終了時は卒業認定となるため2年間の合計時数となります。いずれかの課目にて欠課が補講対象欠課時数に達した場合は補講となります。補講は1時数1時間とし、留年対象欠課時数(それぞれの課目で25%以上、但し実習は20%以上)に達する欠課があった場合は留年とします。なお、留年対象欠課時数に達していなくても補講数によって卒業式までに補講が完了しない場合は卒業延期になる場合がある。
学修支援等
(概要) ・日本理容美容教育センター監修の学習支援サイトの活用。 ・独自の学修支援制度として国家試験対策の授業、実技の動画の配信。国家試験筆記対策プリント作成など多数有。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状態を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
9人 (100%)	0人 (0%)	9人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 理容業にあたるヘアサロン、福祉、エステティックサロンなど			
(就職指導内容) 業種選択→会社選択→会社見学→履歴書作成→面接指導等を経て内定に至る。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 理容師国家資格〔合格率88%〕、日本パーソナルカラーリスト検定3・2級〔合格率46%〕、アリアーレ接遇マナー検定〔合格率100%〕			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
23人	0人	0%

(中途退学の主な理由) 該当者なし
(中退防止・中退者支援のための取組) 学納金延納制度等学校独自の学費支援制度を導入しております。個人（保護者同伴可）面談を毎学期末に行い、意思確認などを行っている。 自己啓発セミナー等で目的意識を強化しております。

① 学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		専門	美容科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	67/2010 単位/時間	30/600 単位/時間	17/510 単位/時間	30/900 単位/時間	0 単位時間	0 単位時間
			2010 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160 人		32 人	1 人	5 人	15 人	20 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 年間授業計画は、公益社団法人日本理容美容教育センターの教科書を下に指導要綱を各担当の職員が一年分ひと月毎に作成していく。授業方法は、各教科・科目ごとに、実習、演習、講義を行う。
成績評価の基準・方法
（概要） ・評価の方法は、各学期（6 月、12 月、2 月）に定期試験を行う。 ・成績評価の基準は、定期試験の結果、基準点に満たない者(60 点未満) は、再試験を受けなければならない。 ・評価する内容としては、シラバス通り、定期試験で知識、理解度、技能習得度合い、表現力等をテストという形で評価し、出席率で熱心さ、授業態度を評価する。
卒業・進級の認定基準
（概要） ・デプロマ・ポリシー(卒業認定基準) 美容科は、以下の項目に満たしているかを確認します。 《美容科》 ● 自己と向き合い、他者を認めて高め合う仲間づくり ● 自らの課題を克服していく強い意思 ● 幅広い技術を学び、時代の変化に対応する発想力を培う ・進級認定・卒業認定時数について 認定会議は、校長及び専任教員を以って構成し、各課目別授業時間数と第 1 学年及び第 2 学年終了時における各課目別においての欠課による指導が行われる時数が決められている。第 2 学年終了時は卒業認定となるため 2 年間の合計時数とな

ります。いずれかの課目にて欠課が補講対象欠課時数に達した場合は補講となります。補講は1時数1時間とし、留年対象欠課時数（それぞれの課目で25%以上、但し実習は20%以上）に達する欠課があった場合は留年とします。なお、留年対象欠課時数に達していなくても補講数によって卒業式までに補講が完了しない場合は卒業延期になる場合がある。
学修支援等
(概要) ・日本理容美容教育センター監修の学習支援サイトの活用。 ・学校独自の学修支援制度として国家試験対策の授業、実技の動画の配信。国家試験筆記対策プリント作成など多数有。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
11 人 (100%)	0 人 (%)	9 人 (81%)	2 人 (19%)
(主な就職、業界等) 美容業にあたるヘアサロン、ブライダル関係、写真館、福祉、エステティックサロンなど。			
(就職指導内容) 業種選択→会社選択→会社見学→履歴書作成→面接指導などを経て内定に至る。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 美容師国家資格〔合格率 81%〕、山野流着装(初中伝・奥伝)〔合格率 100%〕、日本メイクアップ3級検定〔合格率 81%〕、日本パーソナルカリスト検定3・2級〔合格率 75%〕、アリアーレ接遇マナー検定〔合格率 100%〕			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
28 人	3 人	10.7 %
(中途退学の主な理由) 金銭的な問題。進路変更。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学納金延納制度等学校独自の学費支援制度を導入しております。個人（保護者同伴可）面談を毎学期末に行い、意思確認などを行っている。 自己啓発セミナー等で目的意識を強化しております。		

① 学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
衛生	専門	トータルプログラム	○	

				科			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	57/1710 単位/時間	11/330 単位/時間	8/240 単位/時間	38/1140 単位/時間	0 単位時間	0 単位時間
			1710 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		42 人	42 人	3 人	7 人	10 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 年間授業計画は、公益社団法人日本理容美容教育センター、日本エステティック業協会等の教科書を下に指導要綱を各担当の職員が一年分ひと月毎に作成していく。授業方法は、各教科・科目ごとに、実習、演習、講義を行う。	
成績評価の基準・方法	
（概要） ・評価の方法は、各学期（6 月、12 月、2 月）に定期試験を行う。 ・成績評価の基準は、定期試験の結果、基準点に満たない者(60 点未満)は、再試験を受けなければならない。 ・評価する内容としては、シラバス通り、定期試験で知識、理解度、技能習得度合い、表現力等をテストという形で評価し、出席率で熱心さ、授業態度を評価する。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） ・デプロマ・ポリシー(卒業認定基準) トータルプログラム科は、以下の項目に満たしているかを確認します。 《トータルプログラム科》 ● ヘアメイク、ネイル、エステティックに関するトータル的な知識・技術を身に付け美容業界で活躍できる人材 ● 技術力とコミュニケーション力を兼ね備えた人材 ● 「喜ばれる喜び」を持って、自利自他の精神で社会貢献できる人材 ・進級認定・卒業認定時数について 認定会議は、校長及び専任教員を以って構成し、各課目別授業時間数と第 1 学年及び第 2 学年終了時における各課目別においての欠課による指導が行われる時数が決められている。第 2 学年終了時は卒業認定となるため 2 年間の合計時数となります。いずれかの課目にて欠課が補講対象欠課時数に達した場合は補講 となります。補講は 1 時数 1 時間とし、留年対象欠課時数（それぞれの課目で 20%以上）に達する欠課があった場合は留年とします。なお、留年対象欠課時数に達していなくても補講数によって卒業式までに補講が完了しない場合は卒業延期になる場合がある。	
学修支援等	
（概要） ・学校独自の学修支援制度として放課後の授業、実技の動画の配信。各種検定試験筆記対策プリント作成など多数有。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
3 人 (100%)	0 人 (0%)	1 人 (34%)	2 人 (66%)
（主な就職、業界等） 海外展開を予定する化粧品会社、ヘアウイッグ等の商品開発や営業販売、母国（留学生出身国）でヘアビジネスを開業・展開など。			
（就職指導内容） 業種選択→会社選択→会社見学→履歴書作成→面接指導などを経て内定に至る。			
（主な学修成果（資格・検定等））単位修得率、専門士取得率、進級率、標準修業年限内の修了率、留年・休学・退学状況、成績評価の分布表、資格取得者数、各種民間検定・競技会の受賞数等を勘案。			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
7 人	2 人	28.6 %
（中途退学の主な理由） 経済的困窮、帰国		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学納金延納制度等学校独自の学費支援制度を導入しております。毎月、出席率が90%未満の生徒には学校長面談を行い、意思確認などを行っている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
理容科	100,000 円	455,040 円	262,800 円	実習費、施設費
美容科	100,000 円	455,040 円	262,800 円	実習費、施設費
トータルプログラム科	100,000 円	455,040 円	262,800 円	実習費、施設費
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項）				
「学園独自の延納制度（無利息）」卒業後指定期日までに延納を設けている。 「進学时0円プラン（支援機構併用）・入学金免除制度・学費支援制度（出願方法による）。」				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.aliare.ac.jp/information aliare.ac.jp/wp-content/uploads/2024/05/jhR5-1.pdf		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制） 評価委員の構成員に関しては、まず学科ごとに同一の専攻分野と認められる学科ごとに1名以上企業等評価委員を選任し、自己評価結果の客観性・透明性を担保し、かつ、広く学校関係者の協力連携を得て具体的な改善及び工夫等の取組を実施するため、卒業生、保護者又は地域住民、高校関係者、専門家等を候補選定している。なお専門家には同業評価者（他の専門学校関係者）を加えている。重点項目を設定する際には、教育理念、経営方針等を踏まえ、現在の学校の状況等を勘案しながら決めている。文部科学省が評価項目例として公表しているものも参考にしている。（学校運営・教育活動・学修成果・学生支援・教育環境・学生募集・財務・法令順守・社会貢献等） 評価結果に明記された検討課題の担当者を割り当て、各担当者が、検討の進め方、改善の進め方、中間報告のそれぞれについて学校関係者評価委員会で報告し、検討課題が適切に改善につながるようにしている。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
愛知県理容生活衛生同業組合	2023. 4. 1～2025. 3. 31	企業等（理容）
㈱セイファート 東海ランチ	2023. 4. 1～2025. 3. 31	企業等（美容）
(有)ISHIGURO	2023. 4. 1～2025. 3. 31	保護者
K・S HAIR	2023. 4. 1～2025. 3. 31	卒業生
名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院	2023. 4. 1～2025. 3. 31	専門家（同業評価者）
第一学院高等学校	2023. 4. 1～2025. 3. 31	高校関係者
指吸会計センター㈱	2023. 4. 1～2025. 3. 31	専門家
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.aliare.ac.jp/information		
第三者による学校評価（任意記載事項）		
評価団体 一般社団法人 専門職高等教育質保証機構 受審年月 平成 30 年 2 月 評価結果 https://www.aliare.ac.jp/pdf/daisan.pdf		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.aliare.ac.jp
--